

# みらいん

わかばやし

「みらいん」は、  
震災からの復興に向けて  
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の  
今を結ぶ情報紙です。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。  
2012年 元旦  
みらいん編集部



◀東通仮設住宅町内会を支えるメンバーです。  
左から、  
若林区まちづくり推進課  
仮設住宅常駐職員の大野慎也さん、  
朝倉美幸さん、  
会長の大橋公雄さん、  
庶務担当の庄子智香子さん

## 今月のひと

### 荒井小学校用地仮設住宅 東通仮設住宅町内会長

#### 和を以て貴しとなす

荒井小学校用地仮設住宅に向かう車中、歩道を歩く大橋公雄会長の姿を見つけました。散歩の帰りかと見てみると、ふっと姿が消え、またひょいと現れたのです。

その手に握られていたのは、空き缶。

ごく自然に道端のゴミを拾うこの姿が、飾らない人柄とまじめさを物語っていました。

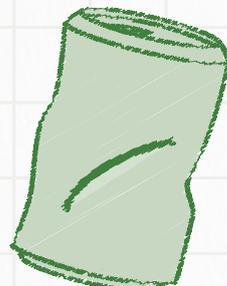
大橋さんは荒井小学校用地仮設住宅の住人で組織する自治会「東通仮設住宅町内会」会長と同時に「荒浜復興まちづくり実行委員会」の代表も務めています。

町内会長としては仮設住宅入居者の生活支援や各種イベントの開催を、実行委員会代表としては「荒浜新聞」を発行するなど、忙しい日々を送っています。

大橋さんほか荒浜地区にある6町内会の代表者は、東通仮設住宅町内会や荒浜復興まちづくり実行委員会の役員となって、

将来の街づくりのために地域の絆をより一層強くするよう活動しているとのこと。

「毎週月曜日の19時から集会所で荒浜復興まちづくり実行委員会を開催しているので、ほかのプレハブ仮設や、民間借り上げ仮設の荒浜の方々にも参加してほしい」と大橋さんは地域の皆さんに呼びかけています。



2012

1

第2号

エピソード3 支援の手は全国から  
そして海をこえてやってきた

👤 出会い

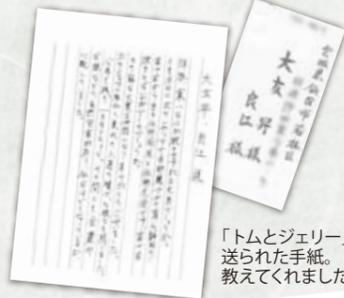
これまで自宅や農地の泥かき作業などのために集まったボランティアは、地元仙台はもちろん東京都、栃木県、群馬県、新潟県、岐阜県、静岡県、山梨県、大阪府、高知県など全国各地から。さらに支援活動を行っている団体「サマリタンズパス」からは、日本在住の方のみならずアメリカ、カナダなどから来日した外国人の応援も続々と入りました。お昼ごはんや休憩をとるのは、建て直した庭のビニールハウス。この中では温かい心の交流もありました。



昼休みのビニールハウスでは日本語と英語が飛び交います

🔄 深まる交流

静岡県富士宮市のボランティアグループ「トムとジェリー」の皆さんは支援活動の後、地元で被災地支援のレポートを行いました。この震災を風化させないよう、継続して発信すると手紙で教えてくれました。



「トムとジェリー」のメンバーから送られた手紙。レポートの様子を教えてくださいました

「出会いが重なり  
ものには代えられない  
つながりを得る」

これまで泥かきや家屋修復に携わった人々は延べ四百人以上。「人間ってつながっているんだと感じた。皆さんに感謝の気持ち伝えたい」と、支援してくださった方々の写真を見せながらよし江さんは語ってくれました。ご夫妻は人々の思いに触れ、励まされ、今日もふんばって頑張っています。厳しい災害の中で得た素晴らしい出会い。この縁が様々な力たちで育まれ、つながり、復興へと立ち上がる人たちの大きな輪ができていくでしょう。

農作業でも広がる輪 結 絆

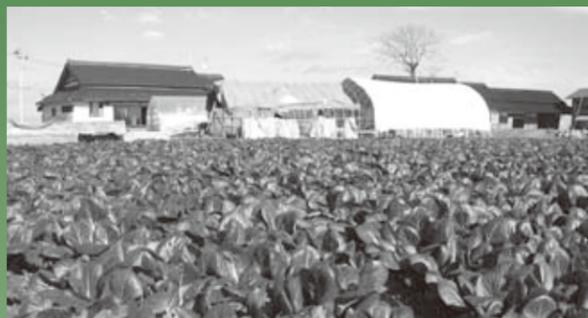
一緒に米をつくる仲間たち

昇さんが代表を務める「ゆいファーム」は、近隣農家4軒で構成される農事組合法人。もともとは農業機械を共有する協同組合として13年ほど前に発足した組織です。所有水田のほとんどを被災しましたが、田植えに間に合う時期に近所の水田を借りることができ、わずかながらも収穫を得ることができました。

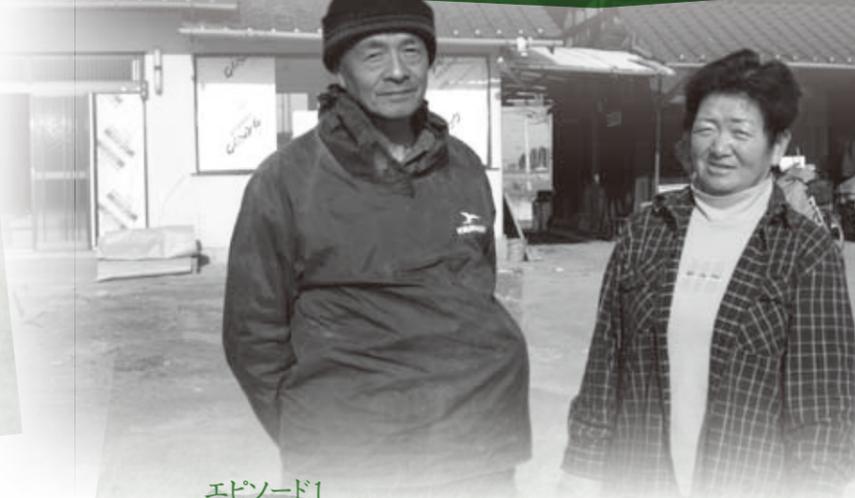
「1人だったら農業の再開は難しかった」と語る昇さん。早めの再開ができたのは法人だからこその強みがあったのももちろん、「仲間」としてのつながりが大きいものでした。お互いに辛いときは何も言わなくても支えあえる関係。来年は東部道路西側に新たな水田を借りる予定です。

畑の野菜も元気に育ちました

自宅敷地内の畑も津波をかぶりましたが、友人やボランティアの手を借りてガレキや泥を撤去し、新たに作付けをすることができました。塩害が心配だったものの、レタス、ハクサイ、ちぢみホウレンソウなど、予想以上の出来に満足しています。収穫した野菜は、支援してくれた方々へのお礼にお渡ししています。



3月11日の地震および津波により、三本塚の自宅と田畑が被害を受けた大友昇さん、よし江さん夫妻。現在、若林日辺グラウンド仮設住宅で生活しながら、農作業を再開し、自宅の再建にいそしんでいます。



エピソード1 九州からやってきた泥かきお助け隊

👤 出会い

自宅再建を決意した5月の初め、夫妻で自宅の泥かき作業をする中、いっばいの泥を乗せた手押し車を押していると、「お手伝いしましょうか?」。1台のマイクロバスが止まり、声を掛けられたのです。中には作業服の男性が10数人。九州からはるばる駆けつけた佐賀県武雄市の市長と議員の団でした。この日から3日間、泥にまみれながら一緒に作業をしました。

🔄 深まる交流

この出会い以降、何度か来仙した武雄市の樋渡市長。そのたびに大友さん夫妻のもとを訪れ、それが縁となって今でも度々様子伺いの電話が入るよう。8月にはよし江さんが武雄市に招かれ被災経験について講演を行うなど、活発な交流が続いています。



泥かき作業後の1枚 上段左から2人目が樋渡・佐賀県武雄市長

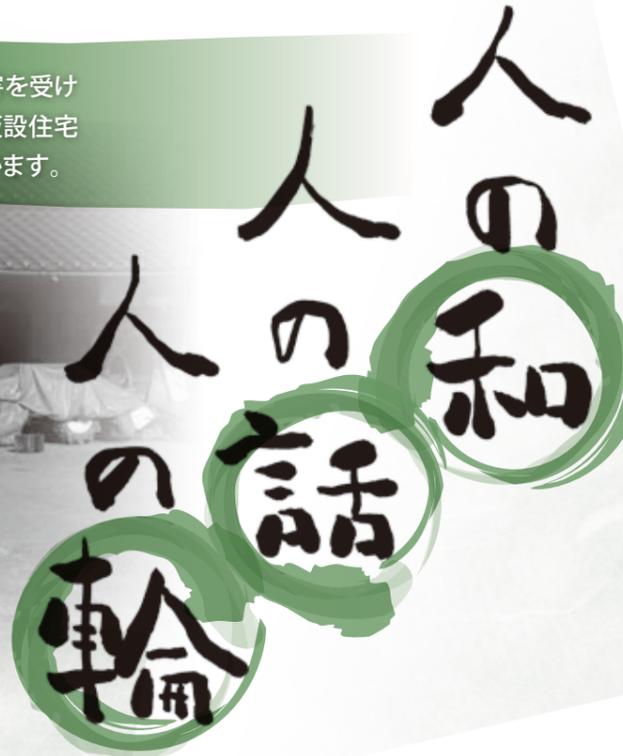
エピソード2 新庄の皆さんと交流、  
うれしいご縁もありました

👤 出会い

発災後間もなく、大友さん夫妻が身を寄せていた避難所へ炊き出しなどの支援を行ったのは山形県新庄市のグループ。市長を筆頭に市職員、農家、仕出し屋などさまざまな方が加わり、支援の輪が広がりました。

🔄 新たなご縁と輪

炊き出しが縁で新庄市の田植え体験のツアーに参加したよし江さん。そこで農業指導をしていたのが、有機農業を営む高橋保広さん。以前読んだ新聞記事で高橋さんの農業スタイルに憧れていたよし江さんにとって、とてもうれしいご縁となりました。また、新庄市のツアーには回数を重ねるごとに参加者も増え、六郷地区住民と新庄市民との新たな輪も生まれました。



大友よし江さんは、カラカラと笑いよくしゃべる明るい人。被災した我が家に再び家族で住むために、ご主人の昇さんと毎日奮闘中です。「人と話すと自分の気持ちも楽になるから」と、避難所では高齢の方に何か不便はないか呼び掛けて回り、仮設住宅に入居後も皆さんとこまめに言葉を交わすことを心がけています。「でしゃばりたいから歩く」

「だよ」と少し照れた様子のよし江さん。自宅再建にかかる作業で忙しく走り回る日々の中、さまざまな人たちとの出会いがあり、交流が生まれました。「支援に来てくれた人とは、その場限りではなく長くお付き合いしていきたい」と語るよし江さん。今回は数ある出会いの中から、いくつかのエピソードを教えてくださいました。

# 被災地レポート

取材地

## 二宮金次郎像はいずこに？ 荒浜地区

### 自宅からいつも見えた 荒浜小学校の石像を捜索

「家の庭先に、おっきな台座だけ流れて来たんです。その上にあった石像は、どうなったんだろう？」

津波で地域全体が壊滅した荒浜地区で、荒浜小学校西隣に住んでいた二瓶照満さんは、妻のさんと荒井小学校用地仮設住宅に住みながら、「ずっと気掛かりだった」と言います。自宅敷地に流れ着いた台座は元々、同小校庭の隅にあり、二宮金



▲基礎部分だけを残してすべてが流された自宅の玄関口に立つ、二瓶照満さん、そのさん夫妻。後ろ右が荒浜小学校の校舎で、後ろ左が同小体育館



▲二瓶さん宅の近所で確認された、二宮金次郎の石像

次郎の石像が立っていたそうです。師走間近の十一月下旬、現地に二宮金次郎像がどこかにあるか、二瓶さん夫妻と確認に行きました。「この辺はね、もう、何もかも津波に流されたんですよ」。二瓶さんに説明されるまでもなく、目の前に広がる光景が悲惨な被災状況を物語っていました。原形をとどめているのは荒浜小の校舎だけで、震災後約八カ月半の荒浜地区は、住宅の基礎部分を残すのみで、ほとんどの建物がなくなっていました。

「あの辺りかなあ？」と言いながら、二瓶さん夫妻が歩き始めて一分ほど。距離にして約百メートル南西の、民家の玄関先だったと思われるコンクリートの上に、その石像はポツンと静かに横たわっていました。きちんと確認したのはこの日が初めてという二瓶さん夫妻。年代物らしく赤みを帯びた石で、読んでいたはずの本を失い、左足のひざ下部分が削げ落ち、台座との接着部分が激しく引き裂かれていました。「こんなに流されてきたんだわねえ」。そのさんがつぶやきました。激しく津波にもまれながらも、金次郎の顔の表情は変わらず穏やかでした。

### 児童や地域との思い出と共に 心の中に今も残るあの頃の景色



▲深沼海水浴場の正面入り口付近に立つ、赤い鳥居の「はってら様」(左端)から見る荒浜地区の現在の様子

います。「夏休みの子ども会のオリエンテーリングだったかなあ。二宮金次郎像はどの方向を向いていますか？」というクイズをしたことがあるんです。特別な存在ということではなかったけど、毎日目にしていましたから、子どもたちや地域の人たちにとって、二宮金次郎像はあつて当たり前存在でした。荒浜の文化や風土を後世に伝える必要があると強く思います。あの二宮金次郎の像だって、地域を見守ってきたという意味では文化のひとつ。今はまだそういうことに目を向けることができないうすけど……。でも、石像が無事に見つかって、まずは良かった。ほっとしています」。

# 情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

## 食料品や日用品をお宅までお届けします

11月から、食料品や日用品の移動販売車「おひさま市場」が各仮設住宅を巡回しています。販売しているのは、肉、魚、野菜、乳製品、お菓子や調味料、さらにティッシュペーパーなどの日用品で、現在100品目以上を扱っています。さらに、持ち運びが困難な方のために、注文を受けた商品をお宅の玄関まで届けるサービスも実施。米・水といった重量物やかさばる生活用品の配達、さらに室内での軽作業などにも応じています。お届けを希望する方は販売員に直接申し出るか、お電話でご相談ください。

対象 プレハブ仮設住宅入居者のほか、借り上げ民間賃貸住宅や社宅等(配達は別途送料がかかります)にお住まいの方も利用できます

時・所 毎週決まった曜日に約1時間、各仮設住宅の集会所付近で販売します

▼月曜日/16:00~荒井7号公園

▼火曜日/10:00~卸町5丁目公園

11:30~六丁目の中町西公園

13:00~荒井小学校用地

14:30~荒井2号公園

16:00~七郷中央公園

▼水曜日/13:00~卸町東2丁目公園

▼金曜日/11:30~荒井小学校用地

14:30~卸町東2丁目公園

※交通事情により到着が遅れる場合があります

☎080-3517-1631 おひさま市場(馬場)

## お弁当サービス

荒井小用地仮設住宅でお弁当の出張販売を行っています。ご注文を受けたお弁当を夕方、仮設住宅内販売所まで配達します。ご利用の前日までに登録・予約してください。数量限定。

対象 以下の条件のいずれかに該当する方。プレハブ仮設住宅、借り上げ民間賃貸住宅、社宅、津波被災地の自宅に居住かの別は問いません

①震災で世帯主またはその配偶者を亡くされた家族の方

②介護保険で要介護者と認定された方とその配偶者

③65歳以上の方とその配偶者

販売日時 祝日を除く月曜日から金曜日まで、概ね17:45のお渡し

販売場所 荒井小用地仮設住宅(伊在字東通34)1号棟1号室

種類 日替わりの長寿弁当

①おかずのみ(定価350円のところを200円に)

②おかずとご飯(定価390円のところを240円に)。

(金曜日は上記に加え、Hotto Motto(ほっともっと)の全メニューを50円引きでご提供します)

☎022-390-5006 自立支援ネットワーク若林ヘルプまたは

090-6063-5774(高橋)

## 相田みつを美術館長講演会「こころのクスリ」

「いのちの詩人」と称される相田みつをの詩の世界を、相田みつを美術館長の相田一人さんがご披露します。

対象 どなたでも参加できますが、先着130名様に限らせていただきます。入場無料

時 1月26日(木)13:00~14:30

所 仙台市若林区文化センター1階ホール

主催 自立支援ネットワーク若林ヘルプ(後援:仙台市)

内容 相田一人館長の講演の後、相田みつを作品を使ったオリジナルグッズの抽選会があります。全員に相田みつを美術館オリジナルはがき、支倉焼のお土産付き

申込方法 住所氏名を記入の上、FAX 022-390-5006へ。後日、入場整理券を郵送します(整理券がなくなり次第、締め切り)

所 090-6063-5774 自立支援ネットワーク若林ヘルプ(高橋)

## キャリア・コンサルティング

専門の相談員が個別に就職相談を行います。参加無料。

対象 仙台市や近郊にお住まいで、現在求職中(学生含む)の方  
時 1月31日(火)10:00~18:00、相談時間は1人約50分(2月28日(火)、3月26日(月)も実施)

所 AER(アエル)6階(仙台市情報・産業プラザ)

定員 28名

申込締切 1月23日(月)必着

※参加者は雇用保険の失業認定の際に求職活動実績として申告できます(就職のあつせんではありません)

※ハガキ、FAX、Eメールのいずれかに郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、年齢、電話番号、希望日時を記入し、下記に申してください(応募多数の場合抽選)

申込・問い合わせ先

財団法人仙台市産業振興事業団管理課

〒980-6107 仙台市青葉区中央1-3-1 AER(アエル)7階

電話022-724-1212 FAX 022-715-8205

Eメール: koyoushien@siip.city.sendai.jp

## 巡回相談

生活上のさまざまな相談に応える地域支えあいセンターの巡回相談です。若林区内での実施場所と日程は以下の通りで、どの会場でも利用できます。予約不要。(他の区での実施予定は、下記までお問い合わせください)

対象 おもに借り上げ民間賃貸住宅にお住まいの方

1月の巡回相談(9:30~16:00)

▼荒町市民センター 11日、18日、25日(毎週水曜日)

▼七郷市民センター 12日、19日、26日(毎週木曜日)

▼若林区中央市民センター 12日、26日(午後)(第2・4木曜日)

▼若林市民センター 18日(水)、24日、31日(毎週火曜日)

▼沖野市民センター(午前:2階第1会議室、午後:1階第2会議室)11日、18日、25日(毎週水曜日)

▼六郷市民センター(午前:3階第1会議室、午後:3階第2会議室)17日、24日、31日(毎週火曜日)

☎022-217-7234 仙台市社会福祉協議会 中核支えあいセンター

# 仮設住宅の 快適生活

このコーナーでは、身近にあるものを活用して、仮設住宅の暮らしをより快適に過ごせる工夫や「おばあちゃんの知恵袋」的な豆知識を紹介しします。

## 抜群の吸湿力

### 新聞紙で湿気退治

冬の洗濯物は乾きにくくて困りもの。そこで活用したいのが新聞紙。濡れたものの近くに置けばぐんぐん吸湿し、乾燥までの時間が短縮できます。とはいえ、乾燥しすぎはもちろん禁物。適度な湿度を保つよう心がけましょう。



イラスト/米森美香子、南大地(東北工業大学)

## 大活躍!

### 針金ハンガー活用術

今回は針金ハンガーにひと工夫して活用しているという、菊地きよ子さんのアイデアをご紹介します。形を変えやすいのが針金ハンガーのいいところ! 両端をクイツと曲げて靴の収納に早変わりです。玄関先に吊るして限られたスペースを有効活用しましょう。

また菊地さんは、同じ加工をしたハンガーを玉ネギの保管にも活用しています。生産者の方はご存知の方法ですが、箱や袋で保管するより長期保存が可能になります。

ほかにも枕干しなど、まだまだ活用方法がありそう。皆さんもいろいろ工夫してみたいかかでしょうか?

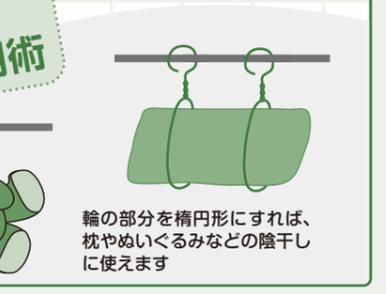
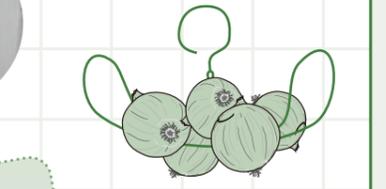
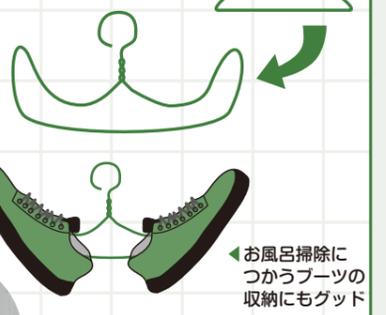
若林区荒井小学校用地仮設住宅にお住まいの菊地きよ子さん

▼室内干しの洗濯物の下に広げて置くだけ。生乾きのいやな臭いも軽減します



## 基本の曲げ方

▼ハンガー上部の半分あたりからクイツと上に曲げるだけ。軍手などを使って、手指を傷つけないように注意して!



## 他にもこんな活用術



# 震災困りごと Q&A ~紙上弁護士相談~

**Q** 震災前から借入をしていたのですが、被災して収入が減少し返済ができなくなりました。法的整理というものを考えているのですが、どうしたらいいでしょうか。

**A** 前回「私的整理ガイドライン」のご説明をしましたが、裁判所を使う手続きとして破産や個人民事再生という「法的整理」があります。

法的整理の典型的なものが「破産」です。破産とは、裁判所に破産手続きの開始を申し立て、裁判所が破産手続き開始の決定を出した時点の破産者名義の財産を全てお金に換えて、公平に債務の弁済に充てるといったものです。ですから、破産手続きをとると、不動産や車、株券、貯蓄性のある保険等をお金に換えなければいけません。

もっとも、破産をしても何もかも失ってしまうわけではありません。当面の生活費相当額として99万円までの現金や預金等、さらに生活必需品や仕事に最低限必要なものは手元に残すことができます。

また、生活再建支援金等の差押えを禁止する立法が制定されましたので、生活再建支援金や義捐金、災害甲慰金も手元に残すことができます。被災の程度によっては受領した地震保険のうち一定額を手元に残すことが認められる場合もあります。新規登録をしてから相当長期

年数が経過した車はお金に換えず手元に残してもよいとされる場合もあります。

破産をして免責が認められると、債務をゼロにすることができるのが最大のメリットです。破産したことは官報という国の新聞に掲載されますが、戸籍や住民票に載ることはありません。

反対に、破産をすると主要な財産は処分しなければならぬことや、クレジットカードを作れないなど、いわゆるブラックリストに載ってしまうことがデメリットになります。また、破産手続中は警備員や保険外交員等一定の仕事をするのができなくなります。

仙台弁護士会館の法律相談センターでは、借金の相談は、平日無料法律相談を実施しています。ご自身の現状やご希望を踏まえてどの方法が最適で、どのような手続や費用が必要となるのか、お気持ちの交通整理のためにもまずはお気軽にご相談いただければと思います。

## 平日無料法律相談の連絡先

仙台弁護士会法律相談センター  
 仙台市青葉区一番町2-9-18  
 TEL: 022-223-2383(予約不要。月・木は夜間相談あり)

「みらいん」紙上で弁護士の先生に相談したい方、ぜひ困りごとの内容について教えてください。(8ページ参照)

## 今回の先生は・・・

やま だ ま さ と  
**プロフィール 山田大仁 弁護士**  
 仙台弁護士会所属(ひろむ法律事務所)  
 東北大学ロースクール卒。  
 仙台弁護士会民事弁護委員会副委員長。  
 河北新報「震災法律問題 Q&A」編集担当等



# ひとこと「ひらり」

## 「伊達政宗公を 囲んだ海の幸」

このコラム出発にあたって、まずは、豊かな話からはじめます。仙台の礎を築いた政宗公の、正月三日間の食膳を記したメニューが残っていて、その中の魚介類には次のようなものがあります。

ふりのり・昆布・くしあわび・にしん・串海鼠・鮭米頭・このわた・ホヤ・あかがい・イセ海老・タラ・鯉・イカ・かつお・子籠り鮭・鮎・かまぼこ・なまこ・数の子・酢貝・からすみ

このような魚や貝のほかに、白鳥や鴨、大根や牛蒡が並び、中には納豆、豆腐、餡餅も入っています。豪華なアワビや海老と一緒に、現代の私たちも口にすかまぼこやホヤ、納豆をわが殿が好んでいた点は、親しみを覚えさせます。

これらは、平穩で豊かな日々を求めて漁にいそしんだ沿岸の人々が収穫したものに違いなく、仙台の海がいかにか恵み多かつたかを、教えてください。

濱田直嗣

濱田直嗣 (はまだ なおつぐ)  
 文化史家。宮城県慶長使節船ミュージアム館長で元仙台市博物館館長。『瑞巖寺の美術』など多くの著作も。平成6年度阿部次郎文化賞を受賞。

次号の執筆者は、若林区日辺の徳照寺住職、佐藤和丸さんです。

# 健康ナビ

## テーマ 口腔ケア

お正月料理はおいしく召し上がりましたか?  
 食事のときに飲み込みにくい、むせこむ、などを感じる場合は、食べ物や飲み下す機能が低下しているかもしれません。「たいしたことはないから」とそのままにしておくと、「誤嚥性肺炎」を引き起こすこともあるので注意が必要です。

## 解説 高齢者に多い 誤嚥性肺炎

年齢とともに「食べる」機能が体の抵抗力が低下することによって、口中で繁殖した細菌が、眠っている間等に、誤って肺に入ることがおきる「誤嚥性肺炎」にかかることがあります。肺炎は、日本人の死亡原因の4位ですが、高齢者においては、この「誤嚥性肺炎」が原因の半数以上を占めているとされ、まさに、命にかかわる病気です。

口中は適度な湿度と温度が保たれているため、細菌にとって格好の繁殖場です。

## 予防法 誤嚥性肺炎の予防

菌の増殖の場所になっていきます。細菌の数が増え過ぎないようにする対策も必要です。

歯みがきや入れ歯の清掃を行い、清潔な口腔を保つよう心がけることで、誤嚥性肺炎を予防します。特に、お口や入れ歯のにおいが気になる時は、お口の中の細菌が増えていることが予想されます。舌のお掃除も忘れずに行いましょう。

また、口が渇く、飲み込む時に、咳き込むといった症状がある方は、簡単な体操やマッサージをすることで、症状が改善される場合があります。効果的な歯みがきやお口の機能を高める方法については、各区保健福祉センター\*の歯科衛生士にご相談ください。



唾液をよく出すためのマッサージ  
 親指をあごの骨の内側の柔らかい部分にあて、耳の下からあごの下まで順に押します。また、耳の脇から頬にかけて、円を描くようにマッサージします

\*各区役所の歯科衛生士や栄養士が、皆さんの地域やお宅を訪問して、歯と口の健康管理や食事のアドバイスを行っています。お気軽にご相談ください。宮城野区保健福祉センター家庭健康課TEL:291-2111 若林区保健福祉センター家庭健康課TEL:282-1111 太白区保健福祉センター家庭健康課TEL:247-1111

# 東北のおいしさがいっぱい詰まった 新しい市場のカタチとは？

「いいマグロが入っているよー」「味見どうぞー」  
通路を歩けばどこからか声をかけられます。人情味あふれる懐かしい雰囲気でありながら、ヨーロッパの市場のような明るく洗練された店内。相反しそうな二つの魅力が合体した卸町の新名所。それが二〇一一年オープンした「杜の市場」です。

野菜や魚介類はもちろん、菓子やかまぼこなどの物産品、飲食ブースなど二十七の店舗が立ち並び、東北の新鮮食材や料理など旬のおいしさが揃います。新鮮野菜では若林区で収穫されたものも発見！毎週末にはマグロの解体ショーや割引販売など、お得で楽しいイベントが開催されるので、こちらもお見逃しなく。



▲近未来的なおしゃれな外観

住所：若林区卸町5-2-6  
TEL：022-762-5701  
営業時間：9:00～19:00  
定休日：無休

アクセス：  
仙台市営バス「中央卸売市場正門前」バス停から徒歩約3分

## クロスワードパズル

出題  
石田竹久

こたえ

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

1	2		3		4
5	B		D		
	7			8	
9			10		E
		11			
12			13		14
C		15			

### タテのカギ

- 鍋にも炒め物にも。冬が旬の伝統野菜、曲がり〇〇
- 泉中央から富沢を結ぶ、地下鉄〇〇〇〇線
- ユアスタのグラウンドのは天然で、Kスタのは人工
- 〇〇〇〇意気に感ず
- 仙台出身の投手・〇〇〇〇隆は、今年42才の現役大リーガー
- アシカにソックリで水族館の人気者。マリニピアにもいますよ
- タイガースの「アニキ」こと、〇〇〇〇知憲は東北福祉大学出身
- 本を終わりまで読み切ること
- 〇〇バスにアクセスすれば、バスの運行状況が即、丸わかり
- 宮城で一番高いのは、屏風岳で1825m

### ヨコのカギ

- 池や沼で見られる浮き草の別名は、〇〇〇草
- 気仙沼出身のお笑い系手品師といえば、マギー〇〇〇
- 仙台出身、柔道の名選手だった神永昭夫。東京オリンピックでは、惜しくも〇〇メダルに
- 数をごまかすときに、読む魚
- 青少年を育成し、社会にも貢献する〇〇〇スカウト
- ハラハラして手に〇〇を握る
- 東京と仙台を舞台にした1992年の人気ドラマ『ずっとあなたが好きだった』で、ヒロインを演じたのは〇〇千香子
- 2015年に開業予定。動物公園と荒井を結ぶ、地下鉄〇〇〇〇線
- 柴田郡村田町出身の三宅兄弟といえば重量挙げの名選手。メキシコ五輪で兄が金、弟が〇〇メダルに輝き、一緒に表彰台へ
- キャッチフレーズがうたい〇〇〇なら、口癖や型通りのフレーズは決まり〇〇〇
- 豪雨、ざんざ降りなどと同程度に激しい、〇〇〇降り
- 巨理町の郷土料理、駅弁でも有名。鮭の煮汁で炊いたご飯に、身とイクラを乗せる、〇〇〇めし

### 前回のこたえ

A ミ B ラ C イ D ン

でした。

1	ズ	イ	ガ	ン	3	ジ	カ
2	ン		1		5	ミ	フ
3	7	ダ	8	ブル	9	ス	ク
4				ン	10	ト	11
5	13	ア	14	ラ	15	ア	16
6	オ		イ		15	メ	16
7	17	バ	18	リ	ト	ン	18

### 編集後記

去年は皆さんにいろいろなお話を聞かせていただきました。中には、ママシを食べたとかびっくり話もありました。今年はどうなお話に出会えるのかワクワクしてます。(きくち)

2号から新しく若林区担当になり、忙しく走り回る毎日です。快適生活も担当しているので、便利な裏技をご存知の方「みらいん」の名札を見かけたらお声掛けください。(さとう)

### 情報提供のお願い

「みらいん」は、皆さんと一緒に作り、歩む情報紙です。紙面に対するご感想や、紹介したい人や場所、今抱えている思いなどのコメントをハガキ、FAX、メールでお寄せください。読者の皆さんの思いを、紙面に反映していきます。

送付先：〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12

「みらいん」編集部

F A X : 022-390-5756 e-mail : kawara@mmmm.or.jp